

夢中熱中青春ライフ！ 70歳まで

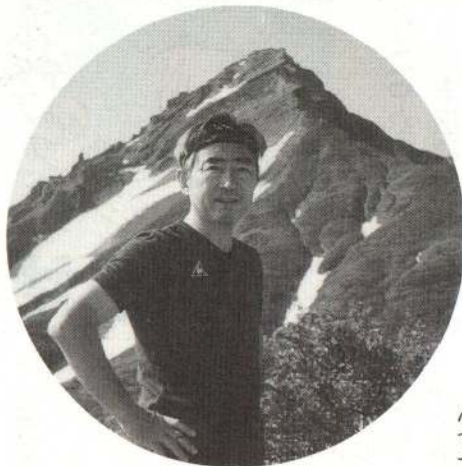
北 鹿 山 の 会

③

夏です。アウトドアスポーツの季節です。海や山は大勢の人たちでにぎわっています。そこで今回は、山を愛し、自然を愛する山岳グループをご紹介します。会員の石田豊太郎さん(元会長)にお話を伺いました。

ひと汗かいた後の 酒と温泉は最高！

昭和五十八年でしたかね。当時、運動具店を経営していた名村さんが、中高年の冬場の健康づくりにと、歩くスキーグループ「大館クロカンスキー同好会」を発足させたのがこの会の始まりなんです。



▷利尻富士をバックにした石田さん

初スキーは、十和田湖畔のスキーハイキングでした。ひと汗かいた後の酒と温泉がなんともいえず、それ以来病み付きです。そのうち冬だけでは物足りず、夏山にも出かけるようになったんです。スキーに限らず活動するようになったので、会の名称も「山の会」に変更したんです。その後、同名の山のグループがあることを知り、ご迷惑をかけてはいけないと思い、昨年から現在の「北鹿山の会」にしています。

最近の活動はバリエーションに富んで、特に舞うように優雅なテレマックススキーにみんな熱を上げています。雑誌「岳人」のページを飾る快挙を遂げた人もいます。



昨シーズンの八幡平茶臼岳スキーツアーのメンバーです

北奥羽の自然を 次の世代にも

我々の会は夏冬を問わず、酒と温泉で山旅を締めくくるのが不文律となっていますが、ただ楽しんでいただけじゃないんです。自然保護のグッズを作り、その売り上げを森吉山の保護のために役立てたり、春秋林道建設中止を呼びかけているグループのワッペン購入に協力したりもしているんですよ。この恵まれた北奥羽の山を、自然を、次の世代にも残したいと祈っているんです。

仙台発 → 大館着

前略

大館市民になりました④

▽今回は軽井沢の高橋哲さんご一家です。
Q・ご家族は何人ですか？

私と妻と娘二人の四人です。上の子が三歳、下が一歳十一カ月です。娘二人はアメリカ国籍なんですよ。

Q・どちらから転入されましたか？

今年の四月に仙台市から来ました。その前は、ロサンゼルスとロンドンに住んでいたんです。ここ五年くらい毎年引っ越しばかりですよ。

Q・大館の印象はどうですか？

自然がいっぱいって感じがな。軽井沢に住んでいるからか。一番目につくのは、仙台に比べて人が親切だということですね。ただ心配なのは、寒いのが苦手なので冬のことだけです。大館には学生時代の後輩もいるので違和感はありませんでしたよ。

Q・食へ物などはどうですか？

山菜が豊富ですね。キリタンポもいろんな所で食べましたが、それぞれ味が違うんですね。お店よりも家庭の味の方がおいしく感じましたね。

Q・大館にどんなことを望みますか？

私も妻も今のままで十分気に入っているんです。空気がうまいし、高速道路が近くにあるし、十和田湖や弘前など近いんですね。見るところもたくさんありますから。東京や他の都市と同じになってほしくないんです。大館の特徴を生かした、大館らしい都市になってほしいですね。



哲さん、美香さん、長女 英里加ちゃん(右)と三女 加恋ちゃんです